

# 和歌山県 子供の生活実態調査（支援者票）



## ご記入にあたって

- 部署・機関を代表しての見解ではなく、支援者個人としての経験やご意見を率直にご回答ください。
- 「その他」に○印をつけられた場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入は、黒や青のボールペンまたは鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- 回答は無記名でお願いします。いただいた回答は統計的に処理され、回答者個人が特定されることはありません。
- スマホ等で回答される場合は、この調査票は不要です。お手数ですがリサイクル又は処分していただきますようお願いします。
- ご記入後は返信用封筒に入れ、**11月29日（水）**までにポストに投函してください。

## お問い合わせについて

この調査は、和歌山県が実施しています。  
調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

### お問い合わせ先

**電話番号：075-924-2582**（9：00～21：00 土日・祝日を含む）

（株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所※ 和歌山県子供の生活実態調査担当）

※和歌山県より本調査の集計・分析を委託された会社です

## あなたのことについておたずねします

（1）どの市町村で働いておられますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、市町村が複数にまたがる場合は、最も長い時間働いているものに1つだけ○をつけてください。

1 和歌山市	2 海南市	3 橋本市	4 有田市	5 御坊市
6 田辺市	7 新宮市	8 紀の川市	9 岩出市	10 紀美野町
11 かつらぎ町	12 九度山町	13 高野町	14 湯浅町	15 広川町
16 有田川町	17 美浜町	18 日高町	19 由良町	20 印南町
21 みなべ町	22 日高川町	23 白浜町	24 上富田町	25 すさみ町
26 那智勝浦町	27 太地町	28 古座川町	29 北山村	30 串本町

(2) 働いておられる機関はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数ある場合は、主なものに1つだけ○をつけてください。

1 保育所	2 認定こども園	3 幼稚園
4 小学校（小学部）	5 中学校（中学部）	6 市町村役場
7 児童館・隣保館	8 子育て世代包括支援センター	9 放課後児童クラブ
10 社会福祉協議会	11 主任児童委員	12 振興局
13 児童相談所	14 児童福祉施設	15 子供関連NPO法人
16 子供食堂	17 放課後等デイサービス	18 地域子育て支援センター
19 家庭教育支援実施団体	20 その他（	）

(3) どのような立場でお仕事をなさっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数ある場合は、主なものに1つだけ○をつけてください。

1 行政職員	2 保健師	3 家庭児童相談員
4 母子・父子自立支援員	5 児童福祉司	6 臨床心理士
7 保育士	8 教員	9 養護教員
10 施設長	11 指導員	12 NPOスタッフ
13 社協スタッフ	14 社会福祉士	15 精神保健福祉士
16 スクールソーシャルワーカー（SSW）	17 スクールカウンセラー（SC）	
18 不登校児童生徒支援員	19 ボランティアスタッフ	
20 その他（具体的に：		）

(4) 今の職場で満何年働いておられますか。（1年未満の場合は「0年」とご記入ください。また、SSWやSCの方は、現在、受け持っている学校のうち最も長い期間をご記入ください。）

 年

(5) 現在従事している業務と同じような業務（前の職場での経験も含めて）を満何年行っていますか。（1年未満の場合は「0年」とご記入ください。）

 年

「子供の貧困」に関する、あなた自身のご経験についてうかがいます

(6) どのような状況にある子供を「貧困状況にある」と考えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子供のいる世帯（以下、「世帯」という）が生活保護を受給している
- 2 世帯が児童扶養手当（ひとり親家庭に対する手当）を受給している
- 3 世帯が就学援助費（子供の学用品費等に対する援助）を受給している
- 4 子供が食事を十分にとれていない
- 5 子供の教育に十分にお金がかけていない
- 6 子供が身体の成長や季節に応じた服装をしていない
- 7 子供が医療にかかるのを控えている
- 8 子供の住環境が劣悪である
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 10 わからない

(7) これまでの経験から、貧困状況にある子供は、どのような状況によくあると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 1 両親が不仲である                         | 2 ひとり親家庭である         |
| 3 世帯が地域から孤立している                    | 4 親から必要以上に干渉されている   |
| 5 親から過度の期待をかけられている                 | 6 親から放任（ネグレクト）されている |
| 7 親から身体的虐待を受けている                   | 8 親から心理的虐待を受けている    |
| 9 親から性的虐待を受けている                    | 10 保護者が家庭を顧みていない    |
| 11 大人の代わりに家事を行わなければならない            |                     |
| 12 大人の代わりに兄弟姉妹の世話や家族の介護を行わなければならない |                     |
| 13 引越しや転校が多い                       | 14 学校の授業が理解できていない   |
| 15 学校や職場に友人がいない                    | 16 学校や職場でいじめを受けている  |
| 17 不登校を経験している                      | 18 学校を中退している        |
| 19 進学を断念している                       | 20 就職後1年以内に離職している   |
| 21 自傷行為をしている                       | 22 DVを含む家庭内暴力がある    |
| 23 非行や非行につながる問題行動がある               |                     |
| 24 その他（具体的に： _____ )               |                     |
| 25 わからない                           |                     |

(8) これまでのご経験から見て、貧困状況にある子供はどのような項目において欠如が見られると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 読み書き・計算などの基礎的な学力	2 こころの状態の安定性・心身の健康
3 健全な生活習慣・食習慣	4 コミュニケーション能力
5 他者への共感力や協調性	6 他者への信頼感
7 自己表現力	8 自己肯定感・自尊心
9 周囲からの評価への適切な反応	10 認知（ものの見方・考え方・価値観）
11 生活自立能力	12 意欲・チャレンジ精神
13 忍耐力	
14 その他（具体的に： _____ )	
15 わからない	16 特に欠如は見られない

(9) 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、貧困状態にある子供や保護者、世帯において、拡大以前と比べて目立つようになったと感じる傾向や特徴はありますか。①と②のそれぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

① 子供について	1 心身の健康状態の悪化	2 学力の低下
	3 進学意識の低下	4 家庭や友人などの人間関係の悪化
	5 家庭における生活環境の悪化	6 その他（自由記載欄にご記入ください）
	7 わからない・特に変化は感じない	
	上記の具体例など、補足があれば下の記入欄に記入してください。	
	【記入欄】	
② 保護者や世帯について	1 収入の減少	2 失業・就業環境の悪化
	3 家族の心身の健康状態の悪化	4 生活習慣の悪化
	5 家族や親戚との間での人間関係の悪化	6 地域や周囲との間での人間関係の悪化
	7 その他（自由記載欄にご記入ください）	8 わからない・特に変化は感じない
	上記の具体例など、補足があれば下の記入欄に記入してください。	
	【記入欄】	

(10) あなたは背景に貧困が伴うと考えられる子供や保護者に対し、これまでに次のような支援を行った経験がありますか。行ったことがある場合は、その支援には効果があったと考えますか。A～Uのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。その他、取り組んだ支援がある場合は、V～Xの( )に支援内容を記載し、あてはまる番号1つに○をつけてください。

		支援の経験なし	支援の経験あり				
			効果が あった	ある程度 効果が あった	あまり 効果が なかった	効果が なかった	わから ない
子供への支援	A 居場所づくり(遊び・読書等の場)	1	2	3	4	5	6
	B 食事の提供	1	2	3	4	5	6
	C 学習の支援	1	2	3	4	5	6
	D 進路相談	1	2	3	4	5	6
	E 就職支援	1	2	3	4	5	6
	F 家での生活の支援・指導	1	2	3	4	5	6
	G 話し相手になる	1	2	3	4	5	6
	H 支援制度・情報の提供	1	2	3	4	5	6
保護者への支援	I 就労支援	1	2	3	4	5	6
	J 生活相談	1	2	3	4	5	6
	K 教育・子育て相談	1	2	3	4	5	6
	L 支援制度・情報の提供	1	2	3	4	5	6
	M 申請手続き等の支援	1	2	3	4	5	6
	N 家事・子育ての支援	1	2	3	4	5	6
	O 家計の管理の支援	1	2	3	4	5	6
	P 話し相手になる	1	2	3	4	5	6
世帯への支援	Q 家庭訪問	1	2	3	4	5	6
	R 見守り、地域連携	1	2	3	4	5	6
	S 関係機関との情報共有	1	2	3	4	5	6
	T 子供の保護	1	2	3	4	5	6
	U 世帯員の人間関係の支援	1	2	3	4	5	6
V	その他1 ( )	1	2	3	4	5	6
W	その他2 ( )	1	2	3	4	5	6
X	その他3 ( )	1	2	3	4	5	6

(11) 貧困状況にある世帯への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。特に困難を感じる番号3つに、○をつけてください。

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1 保護者との信頼関係づくり           | 2 子供との信頼関係づくり          |
| 3 支援に用いることができる制度(資源)の少なさ | 4 支援者間での連携             |
| 5 支援を行うための自分の知識・技術の乏しさ   | 6 支援機関や支援制度に関する情報の少なさ  |
| 7 支援すべき子供や家庭の把握          | 8 支援を受けることへの保護者の同意・積極性 |
| 9 支援を受けることに対する周囲の理解      | 10 支援を行うための人・時間の不足     |
| 11 支援を行うための予算の不足         | 12 組織的に取り組むための体制づくり    |
| 13 本当に必要な子供に支援を届けること     |                        |
| 14 その他(具体的に: _____)      |                        |
| 15 特にない                  |                        |

(12) (自分が所属する機関で実際に取り組まれている支援いかに関わらず) 一般的に、貧困状況に置かれた子供や親に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。特に必要だと思う番号3つに、○をつけてください。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 経済的支援                          |
| 2 相談担当者の質的向上                     |
| 3 相談担当者の増員                       |
| 4 総合相談窓口の設定                      |
| 5 訪問による早期発見や生活支援                 |
| 6 保育サービスの提供(病児保育、送迎支援等も含む)       |
| 7 子供の居場所(遊び・読書等の場)の提供            |
| 8 学校での専門家(S S W等)による支援           |
| 9 子供への学校以外での学習機会の提供              |
| 10 子供への文化的活動(自然体験学習、スポーツ等)の機会の提供 |
| 11 子供への食事の提供                     |
| 12 親への就労の支援                      |
| 13 親への医療機関受診勧奨                   |
| 14 子供の進学・就労の支援                   |
| 15 その他(あれば具体的に: _____)           |
| 16 わからない                         |

(13) あなたは、次のうちどのような場所があれば、子供の貧困対策にとって有効だと思いますか。A～Fのそれぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	有効だと思う	ある程度有効だと思う	あまり有効ではないと思う	有効ではないと思う	わからない
A 子供が（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所をつくる	1	2	3	4	5
B 子供が（家以外で）休日にいることができる場所をつくる	1	2	3	4	5
C 子供が（家以外で）夕ごはんをみんなで食べることができる場所をつくる	1	2	3	4	5
D 子供が（家以外で）勉強ができる場所をつくる	1	2	3	4	5
E 子供に大学生、地域の人などが、勉強を無料で教えてくれる場所をつくる	1	2	3	4	5
F 子供が（学校以外で）なんでも相談できる場所をつくる	1	2	3	4	5

(14) 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**【ヤングケアラーとは？】**

「ヤングケアラー」とは、一般に、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子供とされています。

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 聞いたことはない

(15) 「ヤングケアラー」と思われる子供がいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながるとお思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1 「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること       |  |
| 2 学校に相談窓口があること                |  |
| 3 自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること      |  |
| 4 (2、3以外の) 専門機関に相談窓口があること     |  |
| 5 対面での相談が可能であること              |  |
| 6 電話・メール・SNSでの相談が可能であること      |  |
| 7 24時間いつでも相談が可能であること          |  |
| 8 相談する際の手順や判断基準が分かりやすいこと      |  |
| 9 相談がどのような支援につながるかわかりやすいこと    |  |
| 10 「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること |  |
| 11 その他(具体的に: _____)           |  |
| 12 特にあてはまるものはない               |  |

(16) 和歌山県や県内市町村が取り組んでいる貧困状況にある世帯への支援に関して、特に改善が必要だと思うことや、今後力を入れて取り組むべきだと考えることについて、これまでの支援の経験を踏まえ、このアンケートの内容に関わらず自由に記述してください。


調査にご協力いただき、ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用の封筒に入れて、切手を貼らずに、  
11月29日(水)までにポストに入れてください。